

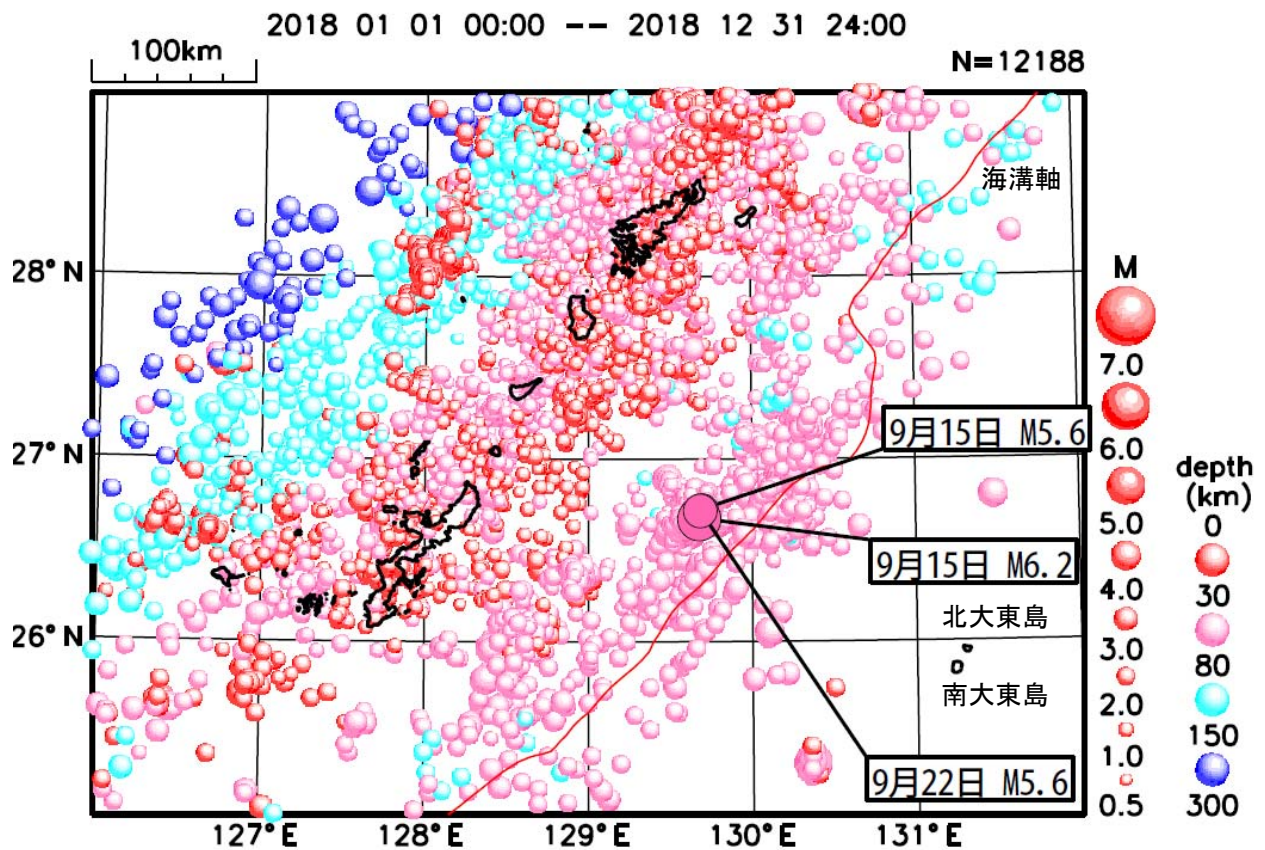
## 2018年（平成30年）の地震活動の概要

2018年に大東島地方、沖縄本島地方とその周辺で観測された地震は、12,188回（前年8,468回）で、M4.0以上の地震は65回（前年36回）でした。このうち、震度1以上を観測した地震は22回（前年32回）で、震度3以上を観測した地震は1回（前年2回）でした。大東島地方で震度1以上を観測した地震は3回（前年2回）でした（別紙資料参照）

大東島地方で震度1以上を観測した地震は次のとおりです。

9月15日09時08分に沖縄本島近海で発生した地震（M5.6）により、国頭村、今帰仁村、本部町、鹿児島県天城町で最大震度2を観測したほか、奄美大島から沖縄本島及び北大東島にかけて震度1を観測しました。この地震の震央付近では9月15日から地震活動が活発となり、9月15日17時05分に今期最大規模の地震（M6.2、最大震度1）、9月22日19時58分に地震（M5.6、最大震度1）が発生しました。なお、大東島地方で震度1以上を観測したのは、2017年7月26日に奄美大島近海で発生したM5.8の地震（北大東村で震度2、南大東村で震度1）以来です。

### 震央分布図（2018年1月1日～12月31日）



大東島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

## 大東島地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：2018年1月1日～12月31日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2018年09月15日09時08分 沖縄県	沖縄本島近海	26° 43.0' N	129° 41.5' E	44km	M5.6
震度 2	国頭村辺土名＊, 今帰仁村仲宗根＊, 本部町役場＊				
震度 1	名護市港＊, 国頭村奥, 恩納村恩納＊, 伊平屋村我喜屋, 那覇市港町＊ 沖縄市美里＊ 読谷村座喜味, 中城村当間＊, うるま市みどり町＊, うるま市石川石崎＊ 南城市知念久手堅＊, 北大東村黄金山, 北大東村中野＊				
鹿児島県	震度 2	天城町平土野＊			
震度 1	瀬戸内町西古見, 瀬戸内町請島＊, 喜界町滝川, 奄美市名瀬港町 奄美市笠利町里＊ 伊仙町伊仙＊, 和泊町国頭, 和泊町和泊＊, 知名町瀬利覚, 知名町知名＊ 与論町茶花＊				
-----					
2018年09月15日17時05分 沖縄県	沖縄本島近海	26° 40.2' N	129° 40.6' E	34km	M6.2
震度 1	名護市港＊, 国頭村奥, 国頭村辺土名＊, 恩納村恩納＊, 南城市知念久手堅＊ 南城市佐敷字佐敷＊, 北大東村黄金山, 北大東村中野＊				
鹿児島県	震度 1	喜界町滝川, 天城町平土野＊, 伊仙町伊仙＊, 和泊町国頭, 知名町瀬利覚 与論町茶花＊			
-----					
2018年09月22日19時58分 沖縄県	沖縄本島近海	26° 42.9' N	129° 41.0' E	48km	M5.6
震度 1	国頭村辺土名＊, 北大東村中野＊				
鹿児島県	震度 1	喜界町滝川, 奄美市名瀬港町, 奄美市笠利町里＊			

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

## ※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。